



瑞雲

学校だより

昭島市立瑞雲中学校
校長 山下 久也
令和5年9月4日

「ほめる」より「認める」

校長 山下 久也

とても暑かった夏休みが終わり、二学期がスタートしました。よく「〇〇の秋」と言われますが、これからの季節は学習やスポーツなどに適した、穏やかな気候になってほしいものです。生徒の皆さんの一層の活躍に期待するとともに、保護者、地域の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、「叱るより、ほめて育てる」とよく言われますが、本校ではさらに「ほめること」より「認めること」を意識しています。

「ほめる」と「認める」は、幼少期の子供にとってはほぼ同義かもしれませんが、しかし、思春期を迎えた中学生の「認めてほしい」は、必ずしも「ほめられたい」ということではないと考えます。

一般的に、大人側から見て一定の水準を達成したという評価が、「ほめる」という行為ですが、子供が「認めてもらいたい」ときというのは、子供なりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを「認められたい」のだと思います。それを大人に理解されずに、ただやみくもにほめられても、励みにはなりません。

私も朝礼などで「皆さんよく頑張りましたね。」と全員を一括りにしてほめることがあります。それができるのは、あくまで学校行事などで教師が計画的に個々に活躍の場面を与え、「自分は努力した」と多くの生徒が感じていることが前提だと思います。併せて、各担任等が、生徒の個別の努力を「認める」こと、さらには生徒が仲間から互いに「認められる」ことが必要だと思っています。

行事や学習に取り組む際などに、生徒自身に目標や工夫する点、努力する点などを考えさせておき、その基準に沿ってどこまで達成できたのかを評価することが「認める」という行為では重要になります。それが、「自己有用感」を育むことにつながると考えています。授業での生徒の振り返り活動なども、思いを把握して認める指導に生かすために、より積極的に取り入れたいと思います。

二学期も修学旅行やフィールドワーク、合唱コンクールなど、生徒がそれぞれ目標をもって取り組む行事が続きます。生徒一人一人のがんばりを「認める」指導を通じて、充実した楽しい学校生活がおくれるよう、今後も工夫して教育活動を行ってまいります。



ハイツ祭り

7月22・23日にハイツ祭りがありました。吹奏楽部による演奏や、生徒会中心にカレーや飲み物の販売ボランティアに参加しました。暑い中、一生懸命に取り組む生徒の姿が見られました。

陸上競技部

部活動の実績

第35回東京ジュニア陸上競技大会		8月26・27日(土・日)実施
1年	1年男子100m	第4位
2年	1・2年男子砲丸投	第1位
3年	共通女子ジャバリックスロー	第6位
3年	3年女子100mYH	第2位
3年	共通女子ジャバリックスロー	第3位
3年	3年男子砲丸投	第5位



吹奏楽部

第63回東京都中学校吹奏楽コンクール B組 金賞 8月5日(土)実施



野球部

第10ブロックシード権大会 ベスト4

8月17日 vs 小金井二中 7-0 ○
20日 準決勝 vs 立川第六中 2-4 ●



※秋季ブロック大会第4シードの権利を獲得しました。

2学期の主な行事予定

9/12(火)	英語村(2年)
22(金)	学校公開日(道徳地区公開講座)
27(水)・28(木)	中間考査
10/3(火)~5(木)	修学旅行(3年)
23(月)	合唱コンクール
31(火)	フィールドワーク(1年)
11/2(木)	フィールドワーク(2年)
14(火)~16(木)	期末考査
26(日)	英語スピーキングテスト(3年)
12/5(火)~11(月)	三者面談(全学年)
25(月)	終業式

